

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業ビジョン

ものづくりという業にあって、お客様の喜びを我々の喜びとし、技術を誇り、未知なる世界に挑戦するQuality Businessを実践する集団

連結売上高
1,000億円

連結営業利益
43億円

ROIC
6.0%

ROE
6.5%

② 中長期の経営戦略

1. 事業構造の転換

工作機器・産業機械・金属素形材・半導体関連の4事業ポートフォリオを再構築し、M&Aや新分野開拓で成長を加速

2. 経営品質の進化

ITインフラ強化やAI・3Dモデル活用で技術基盤を確立し、脱炭素社会への貢献を目指す

3. 既存事業の基盤強化

各カンパニーの海外展開、DX活用、商品戦略再構築、生産性改善により事業体制を強化

4. 人材育成

自ら学習し行動できる社員育成とジェンダーギャップ解消、ダイバーシティ推進で基盤構築

③ 対処すべき課題

① 事業ポートフォリオ転換

- ・ 経営資源の選択と集中で抜本的事業構造変革を推進
- ・ M&Aや社外連携で既存市場拡大と新規市場開拓
- ・ 新たなビジネスモデルの創出に取り組む

② 既存事業基盤強化

- ・ 工作機器事業は海外生産能力増強と営業連携強化で海外展開を加速
- ・ 産業機械事業はコンクリートプラント・荷役機械・立体駐車場で競争力向上
- ・ 金属素形材は生産性改善と新規市場開発、半導体事業は装置受注拡大と投資強化

③ 働きやすい環境構築

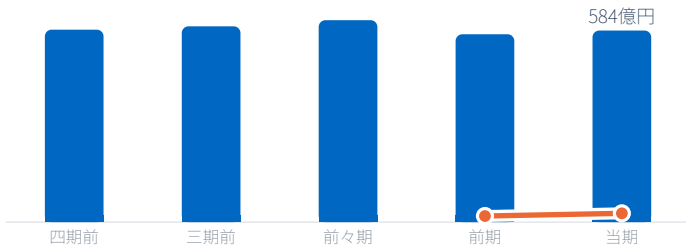
- ・ 多様な働き方環境を整備
- ・ 個々のキャリア形成支援と人事制度見直し
- ・ 社員の成長実感と自律した活力ある人材育成

面接で使えるポイント

- ・ Plus Decade 2031で2031年度売上高1,000億円を目指し…
- ・ 工作機器・産業機械・金属素形材・半導体関連の4事業でAI・3Dモデル活用による技術基盤の確立を推進中
- ・ 自ら学習し行動できる社員育成とジェンダーギャップ解消・ダイバーシティ推進で人材成長の基盤を構築

証券コード 6317

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
58.4億円営業利益率
4.6%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 41.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
579万円

機械内 168位/208社

平均年齢
43.3歳

機械内 69位/209社

平均勤続
17.2年

機械内 63位/209社

女性管理職
－（未開示）男性育休
86.1%

機械内 79位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【導入事例】株式会社北川鉄工所がIR資料作成支援「LEAD」

